



オープンなキッチンの手元を隠すカウンター。広い天板の下には蓄熱ヒーターが収まっている



すっきりとした和室はゲストルームにも。夏休み、お子さんの友達が大勢宿泊した際にも大活躍!

以前使っていた食器棚がちょうど収まるように設計されたキッチン。小さな窓があり通気性も良好

採光も十分なスタディコーナー。造作のカウンターや本棚のおかげで整理整頓がしやすく、パソコン等のコード類も表に見えない設計



リビングからダイニングを眺めた様子。風の通り道を計算して開口部を設けているので、常に気持ちのいい風を感じられる

〇〇〇在住 Sさんの住まい

## 3人兄弟のエネルギーを受け止める 森そのものようなわが家

家の中を吹く風に乗って木の香りが伝わるS邸。  
リビングにはボルダリングや登り棒、2階にはうんていも!  
3人兄弟の元気な成長を願う遊び心にあふれた家を  
[ハウスランド社]とともに造り上げました。



アーチ状の裏れ壁の奥はシューズクローク。玄関土間を挟んで向かいにも収納を確保



色違いのタイルをモザイク状に敷き詰めた玄関。養祥明氏の作品がゲストを迎える

びまわっていたそう。その興奮ぶりの理由も、ページをめくってもらくと分かるはず。なんとS邸には1階と2階を結ぶ小さな吹き抜けにボルダリングと登り棒、2階の廊下うんていが取り付けられているのだ。

このアイデア、学生時代にエペレストの登頂にも成功した登山愛好家であるご主人からのリクエスト。身体を鍛えるというよりも、楽しい家をつくりたいという想いが伝わってくる。登って降りてまた登って...息子さんたちは階段を使うより早く、壁や棒を使って1階と2階を行き来する。遊びの中で鍛えられる身体能力、うーん、これは成長が楽しみだ!



門柱にはチベット仏教の祈りの旗、タイルにも使われている5色のタイルを埋込んでアクセント!

暮らしを楽しむためのアイデアを共にカタチに

Sさんご夫妻が進んだ家づくりの「ハウスランド社」。自然素材にこだわった日本の伝統的な建築手法を大切に、現代の暮らしに合わせた家づくりに取り組んでいられる。筑紫野市にある同社の住宅デザイン研究所「古民家スタジオ風のくら」を見学したご夫妻は「一目で気に入った」という。「色々なハウスメーカーを回りましたが、ボルダリングや登り棒を設置したいという話をすると、ほとんどのメーカーでは難色を示されました。ところが、ハウスランドさんは「おもいっぴいですね!」とのかたがたさだった。あれは嬉しかったですね」とおふたり。暮らしを楽しむためのアイデアは、お客様と一緒にあきらめがたがってカタチにする。そんな「ハウスランド社」の社風が伝わるエピソードだ。

子どもたちが集まる  
ここは、森のお城。



グリーンの大きな屋根が印象的なS邸。設計士はスイスの避暑地にあるような建物をイメージしたという

家づくりのお宅訪問  
interview with new house!  
REPORT #00